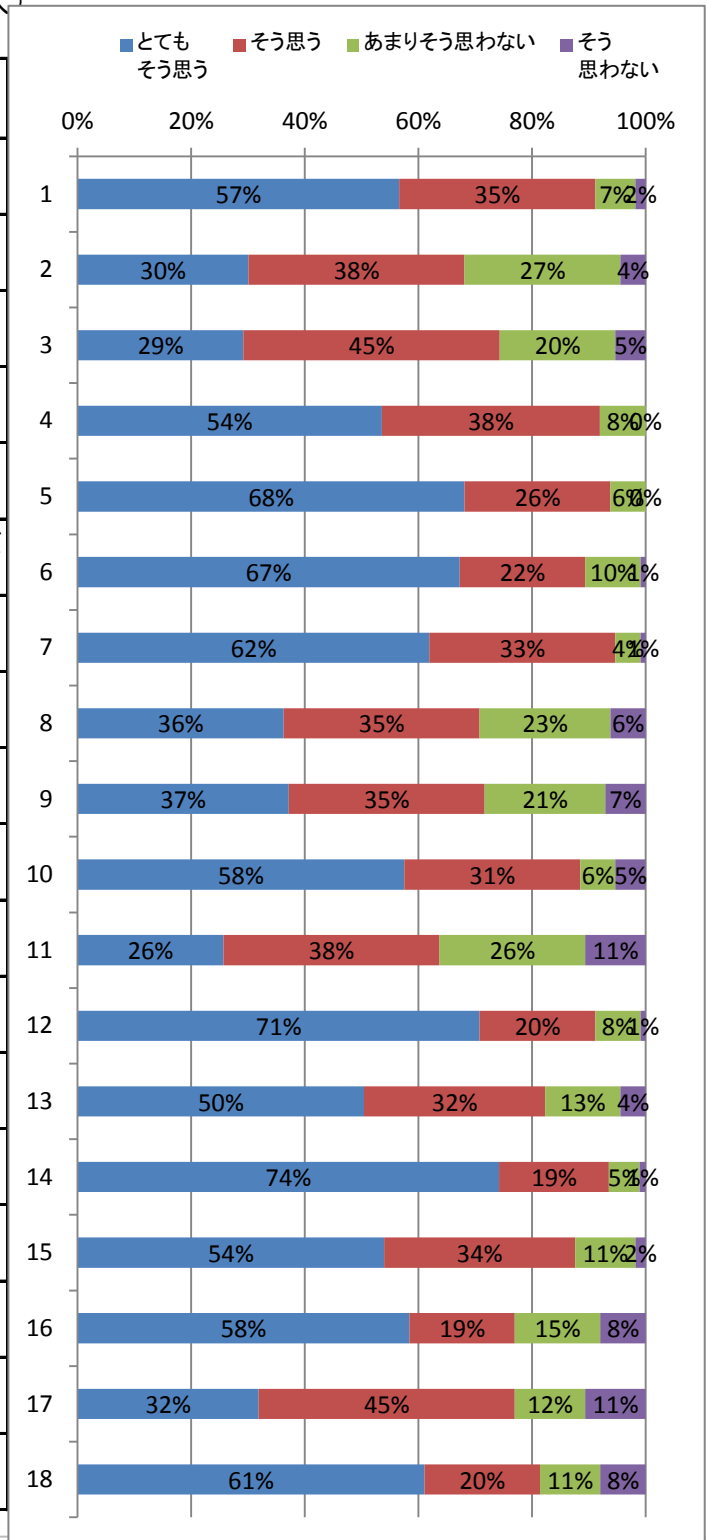


2018年 2学期児童アンケート分析 (113人)

No.	質 問
1	学校は楽しい。
2	学習道具のわすれものがなかった。
3	授業中よい姿勢をこころがけた。
4	学習がよくわかった。
5	学習の「ふりかえり」をすることができた。
6	授業中、友だちに自分の考えを言ったり、友だちの話すことを聞いたりすることができた。
7	授業中、指名されたら「はい」と返事をした。
8	自分からすすんで発表した。
9	字をていねいに書いた。
10	家庭学習をきちんとした。(学年×10+10)分
11	月～金曜は、家でテレビやゲーム(インターネットをふくむ)などはあまりしなかった。
12	学校や地域で、すすんでワンストップあいさつができた。
13	ろうかや階段を静かに歩いた。
14	トイレのスリッパをきちんとそろえた
15	学校や家庭で、相手に伝わるようにあいさつや返事ができた。
16	学校であったことや友だちのことを家族によく話している
17	乱暴な言葉や相手を傷つけるような言葉は使わないようにした
18	困ったことがあったとき相談できる人がいる。



〔学習面〕

・「学習がよくわかった」「ふりかえりができた」の質問で、「そう思わない」の回答は0だったことから、学習意欲が高まっていることが伺える。家庭学習の時間も肯定的評価が90%近い。指名されたときの返事も肯定的評価がやや増えた。積極的な発表は、学年があがるほどできにくい傾向がある。

〔生活面〕

・ワンストップあいさつや室内での歩き方、トイレのスリッパそろえなどは、1学期同様90%以上が肯定的評価をしている。

・ゲームやネット視聴時間は平日でもある程度する児童が多いようである。家庭学習の時間は確保できているので、学習には影響しない程度と考えられる。

・「乱暴な言葉をつかわない」項目で、全体的には肯定的な評価の割合が高いが、中学年では否定的な評価がやや高くなっている。

・「相談できる人がいる」は、81%と高いが、1学期と比べるとやや下がっている。どの学年も集団のなかで子どもどうしのつながりをつくる取り組みをしてきている。

